

NO消費税

2026.9
第421号

発行 消費税をなくす全国の会

〒114-0023 東京都北区滝野川3-3-1-201
TEL 03-3940-0401 FAX 03-3949-9885

●郵便振替 00130-2-16922 ●1部170円(送料共) *1999年1月18日 第3種郵便物認可
●ホームページ <http://no-shouhizei.com/> *2026年8月25日発行(毎月25日発行)



●目次●

- 毎月の世話人会が活動のエネルギーに……………(1)
私たちの思い……………(2)
暮らし、生業に役立つ経済教室⑭……………(3)
国会、国民軽視の高市政権と堂々と対峙して……………(4)
東西南北(各地の取り組み)……………(6)
政府の消費税減税案では全く不十分……………(8)

後継者づくりと世代継承が課題です

毎月の世話人会が活動のエネルギーに

草の根の活動から

大阪・泉北の会



後列左から、井上光吉さん、宮武賢代さん、中田尚子さん
前列左から山口数之さん、藤本待子さん、川田佐代子さん、川田五郎さん

会の発足の原点は大型間接税
泉北の会の地域では、「消費税をなくす全国の会」の発足より前に「大型間接税に反対」の運動がありました。それは天野松子さん(当時は大商連)が作成の「大型間接税に反対」のニュース(B4サイズ・手書き・無料)の配布でした。

ニュースを封筒に入れて戸別訪問し「これ読んでもらえますか」と承諾を得てポストに配布し、「大型間接税に反対」の声を上げました。当時は300人の読者がいたとのこと。残念ながら当時のニュースは手元に残っていません。現在の「ノー消費税」読者は45人、さらに広げたいと頑張っています。

月1回の世話人会議での学習・討論が活動の力に

現在の活動は、毎月1回8人の世話人での学習・会議と泉ヶ丘駅前(スパー前)とりそな銀行前を交互に実施)での署名宣伝・シール投票です。月1回の学習会は「消費税をなくす大阪の会世話人会」に参加している山口数之さんがチューターで会議の資料を活用して消費税を巡る情勢を深め、活動の力になって

います。「給付付き税額控除とは？」も学習して問題点を学びまし

消費税をなくす全国の会第37回総会

○日時 10月3日(土)午後1時~5時(予定)
○会場 全商連会館3階大ホール

※オンライン併用で行います。

継続してきたなくす会の活動に光が

た。山口さんは、「福祉のためと導入したが、福祉は改悪の連続。実際は大企業や富裕層の減税に使われ、大企業では正社員を派遣社員に代えて税金逃れしている事への怒りが活動の原点」と語ります。
月1回の宣伝では「消費税は社会保障のために使われているからなくしたら社会保障が悪くなる」と署名を断る人に「社会保障のためには使われていない、大企業や富裕層を優遇する税金」と話しています。消費税は貧しい人が一番しんどい税金、お金持ちは負担が軽いのだと訴えています。

最近ではシール投票での世論の変化を実感します。最近行ったシール投票では「消費税5%」は43、「廃